

こちら地域おこし協力隊

地域振興課



さいじょう だいち
西條 大地



1月13日(土)、14日(日)に東京ビッグサイトで開催された「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024」に参加させていただきました。

イベントでは、多くの方が高山村ブースに足を運んでくださり、高山村での生活や魅力についてお伝えしてきました。私自身、移住してきてから日は浅いですが、高山村の魅力をもっと発信できるよう努めてまいります。



おおさわ まさみ
大澤 雅美



今年度で、晴れて地域おこし協力隊を卒業することになりました。

この3年間で、さとのわのお手伝いやイベント企画をしながら、村へ移住してきた方など少しずつ知り合いも増えてきました。これからも高山村でデザインや企画などの仕事をしながら、任期中あまり活動できなかった木に携わることにより力に向けていきたいと思えます。至らないところもあり、多々ご迷惑をおかけしたこともあったと思いますが、今後も高山村を拠点に活動できたらと思えます。村民皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



農林課

たむら かずき
田村 一樹



私の主な活動は農業研修です。現在は有機農家さんのもとで干し芋づくりの研修を行っております。

工程としては単純ですが、非常に手間と時間がかかる作業です。今年は、さつまいも栽培と干し芋加工もしてみようと考えています。

また、研修を行いながら借りている土地で準備を進めています。春には桃等の果樹の定植も進めていきたいと考えています。

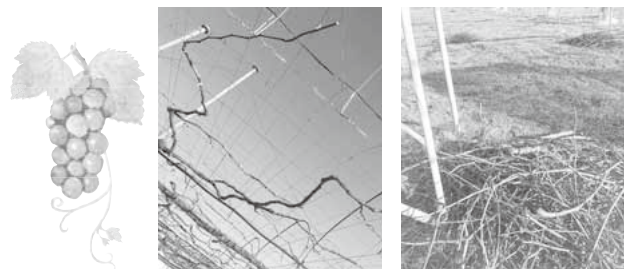


たかはし きみこ
高橋 君子



山梨県や長野県で主流の長梢剪定を主に、昨年研修を振り返り、この冬は、研修先で3本の木を任せられ剪定を行いました。

また、群馬県のぶどう品種の育種に向けて、春からは昨年の振り返りなので、さらに学びを深めてまいります。





01 空き家調査について

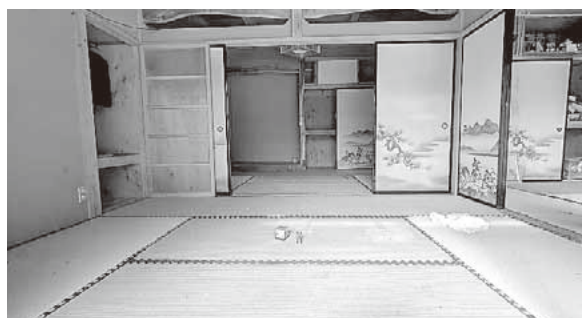
昨年12月に行った村内の空き家調査をもとに、活用の可能性が見込まれる20軒の物件所有者の方へ問い合わせを行いました。8件よりご返信いただきそのうち3件について、活用のご相談を受け役場職員と移住・定住コーディネーター2名で現状調査を行いました。

物件の状態は築年数、空き家になってからの年数、立地などによって様々ですが、空いている状態が長ければ長いほど劣化が進み、特に建物北側の床が抜けてしまうケースが多くみられます。

▼空き家調査の様子



▼利活用の可能性がある物件



調査の中で空き家活用を検討する際に物件所有者の方に以下のような要望を確認し、今後の活用について一緒に考えていきます。

<希望する賃貸・売却方法>

1. 遠くに暮らしているため片付けや修繕が難しい。安くてもいいのでそのまま売却・賃貸したい。
2. リフォーム、修繕は行うのでしっかりとした相場で売却・賃貸したい。

<手放したい時期>

1. 防犯の対応や、管理が大変なのでなるべく早く手放したい。
2. ご近所さんと仲良くしてくれる人を紹介してほしいので急がない。

また活用を望まれた物件については、移住相談を経て、地域活動への参加やご近所の方と仲良くしてくださる方にご紹介をしております。

i 移住定住のために空き家を利活用することを条件とし、空き家の利活用に向けてお片付けのサポート、入居希望者の仲介などをさせていただいております。「まだ使えるけれど使っていない家がある」などございましたら、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】 高山村役場地域振興課 担当：武田 ☎0279-26-7944(直通)

02 移住者の体験談を発信しています

引き続き、インターネットメディアで、高山村へ移住した先輩達のインタビュー記事を公開しています。

これまで高山村に移住した人達にスポットをあて、高山村での生活や魅力を発信しています。ぜひWEBサイトにアクセスして目を通してみてください。

また、村外から高山村に住まいを移された方に対して、定期的にインタビューを実施しております。「あなたの移住・定住のお話」を教えてください方々を募集しております。

応募はこちらから↓



<https://x.gd/WnSzc>